



アブラハム・プライベートバンクの積立

「毎月5万円」の 海外積立投資で 1億円をつくるには？

ゆとりある人生を送るには、質の高い資産運用サービスを活用した早めの準備が大切だ。アブラハム・プライベートバンクが提供する積立サービスは、「年率10%以上の複利運用を30年間続けて1億円つくる」というコンセプトが特徴。日本の個人の資産運用に新風を吹き込む。

“ガラパゴス”な日本から 海外の優良ヘッジファンドへ

ゆとりある老後を送るなら夫婦2人で1億円以上が必要だというデータがあることは、本誌読者ならすでにご存知だろう【図表1】。では、「1億円」という大金をどうやってつくるか。一つのアプローチとして、高いリターンが見込める金融商品を複利で積み立てる方法が考えられる（【図表1】のグラフ）。

しかしその時、「高いリターンが見込める金融商品」がどこに存在するか、という問題があなたの前に立ちはだかるだろう。日本では1996年のいわゆる金融ビッグバンまで金融業界内で自由競争がなかったと言っても過言ではない。翻って米国の株式売買手数料の完全自由化は75年。この20年以上の遅れは人材育成などの面で大きな差を

生んだ。経験の浅い投資家に手数料狙いの回転売買を推奨する販売会社の存在も、世界の金融業界の常識からかけ離れた“ガラパゴス”日本の象徴ともいえよう。

98年の外為法改正、2007年の金融商品取引法施行などで米欧に近づきつつあるものの、人材不足の日本は、高いリターンを追求する商品開発力や運用力では海外に及ばない【図表2】。

このことを裏付けるように【図表3】からはヘッジファンドが投資対象として有用なことが見てとれる。日本の富裕層では、海外の優良ヘッジファンドに直接運用しているケースも少なくない。ここまで聞いて、あなたは、「金融資産のない一般人にはヘッジファンド投資は無理」と、自分で可能性の扉を閉ざしていないだろうか。

確かに、日本の一般個人が自分で海

外の優良ヘッジファンドにアクセスするのはハードルが高い。世界中にあまたある商品を対象に、日本の個人でも購入でき、かつ運用成績が優秀な商品を探し出すだけでも膨大な時間とエネルギーが必要だろう。申込手続きは原則すべて英語。運用状況のタイムリーな確認やアドバイスが受けられるかも不安だ。

だが、実際には、これはあまり知られていないことだが、日本の一般個人でも自宅に居ながら富裕層のような資産運用にチャレンジできるのである。それが、投資助言会社のアブラハム・プライベートバンクが提供する積立サービスだ。

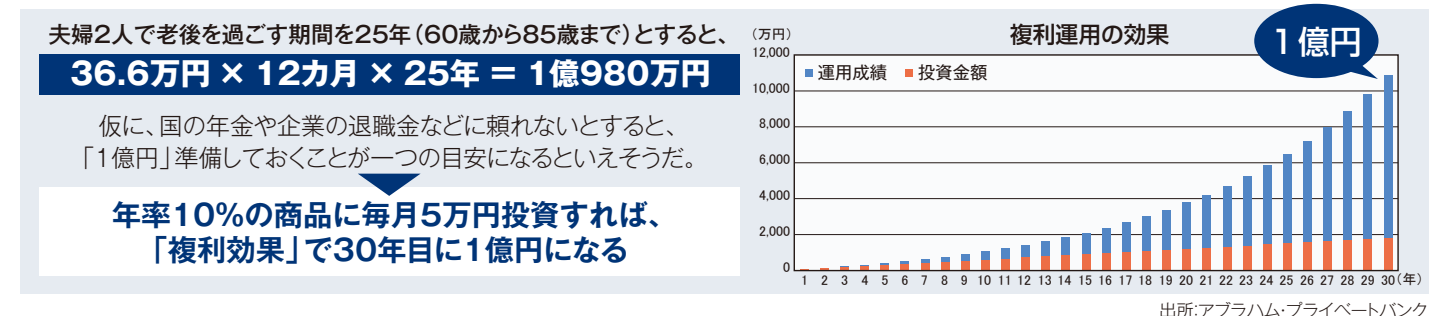
中間マージンや 販売手数料なしで直接運用

投資助言会社とは、投資家から資金を預からず、アドバイスの提供を専門にする会社を指す。アブラハム・プライベートバンクは「ファンドのセールスマン」ではないので、中間マージンや販売手数料なしで直接運用できる。投資助言料は最大で投資残高の0.945%/年だ。

アブラハム・プライベートバンクの積

【図表1】日本では退職後に1億円必要!?

「平成22年度 生活保障に関する調査」（（公財）生命保険文化センター）では、現役世代も対象にして、夫婦2人での「老後の最低日常生活費」「ゆとりある老後生活費」の金額を質問。その結果、最低日常生活費の平均は22.3万円、ゆとりある老後生活には36.6万円必要と考えられているという傾向が浮かび上がった。



立のコンセプトは、「年率10%以上の複利運用を30年間続けて1億円つくる」と。個人では問い合わせず難しいような海外トップクラスのヘッジファンドなど顧客のリクエストに沿った商品をセレクト、投資家側は自宅に居ながら海外ファンドに直接積立を始めることができる。

仮に毎月5万円、年10%で運用できたとすれば、30年後には1億円になる（【図表1】のグラフ）。海外の優良ファンドを投資対象にしながらも、「毎月5万円」というカジュアルさと「海外積立投資」という効率的な運用手法を兼ね備えているのが魅力だ。

申込手続きも簡単。アブラハム・プライベートバンクが適宜必要書類を取り寄せ、送ってくれる。電話で担当スタッフがサポートしながら一緒に記入することができるので英語が苦手でも安心だ。ファンドセレクト・スイッチ（別の商品への乗り換え）なども担当者が丁寧にサポートしてくれる。

日本の個人と世界の優良ファンドをストレスフリーでつなぐアブラハム・プライベートバンクの積立。同サービスを活用して、ゆとりある老後に向けた資産運用の大きな一歩を踏み出してみたいかがだろうか。

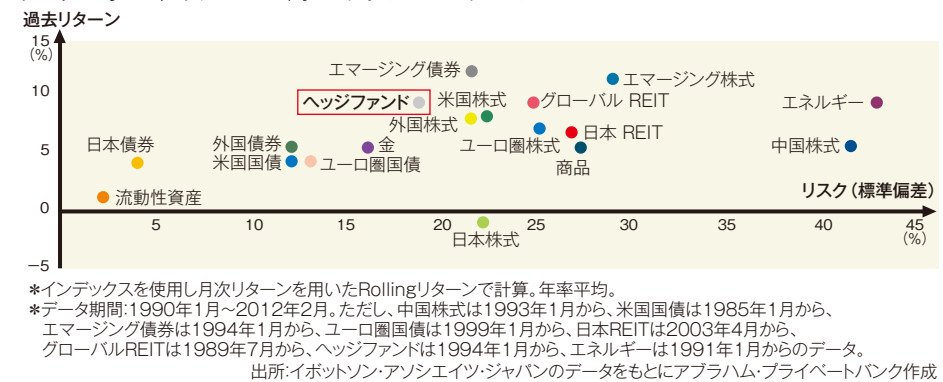
【図表2】世界のヘッジファンドランキング上位5位のリターン

	ファンド名(運用会社)	2011年成績
1	タイガー グローバル(タイガー グローバル マネジメント)	45.0%
2	ルネッサンス インスティテュショナル エクイティーズ(ルネッサンス テクノロジーズ)	33.1%
3	ビュア アルファ II(ブリッジウォーター アソシエイツ)	23.5%
4	ディスカス マネージド フューチャーズ プログラム(キャピタル ファンド マネジメント)	20.9%
5	プロビデンス MBS(プロビデンス インベストメント マネジメント)	20.6%

出所:ブルームバーグのデータを基にアブラハム・プライベートバンク作成

【図表3】アセットクラスごとのリスク・リターン

一般的に「リスクが高い」と思われているヘッジファンドだが、下の表を見ると、日本REITよりリスクは小さく、リターンは高めであることがわかる



スタート応援キャンペーン実施中

- 特典1 積立開始で1万円プレゼント** 積立開始後、アンケートにお答えいただいた方には現金1万円をプレゼントいたします。
- 特典2 さらに、友達紹介で9,800円プレゼント** ご入会後、お友達をご紹介ください。お友達も入会されましたら、さらに9,800円をプレゼントいたします。

0120-104-359 受付 平日/月曜日~金曜日 10:00~18:00 土日祝休業
advisory@abraham-bank.com

※①住所②氏名③年齢④電話番号
⑤希望積立金額⑥希望投資期間——を明記

アブラハム入会 検索

※投資助言により紹介する金融商品の中には元本欠損が生じるおそれがあります。
※ご入会の際は、アブラハム・プライベートバンク会員規約（投資助言契約前交付書面等）を十分にお読みください。
※投資を実行した際は最大で投資残高の0.945%/年間の投資助言料が発生します。

❗ 投資助言会社 アブラハム・プライベートバンク株式会社

アブラハム・プライベートバンクは、富裕層向けマーケティングを展開するアブラハム・グループの一員だ。同グループは純金融資産1億円以上の富裕層限定プライベートクラブ「ゆかし」を運営。その結果、世界中から投資情報をはじめ富裕層向けのあらゆる情報が集まる。そこで培ったファンド会社との太いパイプを活かし、富裕層向けと同じような積立サービスを一般層にも提供可能な形にすることができたというわけだ。

**Abraham
Private Bank**

アブラハム・プライベートバンク株式会社

登録番号 関東財務局長(金商)第532号 投資助言業
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 虎ノ門ワイコービル5F
TEL.03-5776-7060 FAX.03-3438-4052 <http://abraham-bank.com/>
<フェイスブック> <http://www.facebook.com/AbrahamPrivateBank>

